

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

## Peace Through Service

奉仕を通じて平和を

2012-2013年度 国際ロータリー会長 田中 作次



2012-2013年度 会長 坪井和義 幹事 中村有孝 クラブ会報委員長 坂倉弘康  
創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30  
例会場/ウェスティンナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551  
TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

### 2012 November 14

■ 2012~2013 年度方針

「楽しいロータリーライフ

深めよう友情 広めようロータリーの輪」

### NO.18

#### 例会報告

- 第1968回例会 平成24年11月14日(水)曇
- 11月はロータリー財団月間
- ロータリーソング 我等の生業

●出席報告 会員 105 名中 出席70名  
(98)  
出席率71.43% 修正出席率92.08%  
(10月31日分)

#### ●ニコボックス

「本日、ロータリー財団の卓話をさせていただきます。」 服部雅紀ロータリー財団委員長

「お陰様で明日(11月15日)卒寿を迎えます。一期一会ロータリークラブの例会を楽しみたいと思います。」 長谷川通雄君

「11月から新築医院に移転しました。日東建設さん、丸美産業さん、横井建築さん、関さんはじめ関係の皆様には大変お世話になりました。又、お祝いをいただいた方々には心から感謝申し上げます。」 高木一平君

「高木耳鼻咽喉科医院、新築おめでとうございました。副業(音楽)?のほうもしっかりよろしくお願ひします。」 久保和彦君

「高木先生、新築おめでとうございます。すばらしいスタジオでびっくりしました。」 安井隆豊君

「高木先生へ 11/1 新築医院(4階建)完成お目出とうございます。ガッポリ稼いで下さい。」 武藤 博君

「11日開催のゴルフ・ワンの会で図らずも優勝させていただきました。福田さんと同ネットでしたが年長者に花をもたせていただき、ありがとうございました。また普段以上のスコアを出せたのは大先輩である安井信之君、松原さん、岩田さんとご一緒させていただき、適度な緊張感をもってプレーできた結果で、御三方には深く深く感謝しています。今回の結果に驕ることなく、ゴルフ道に精進しますので宜しくお願いします。」 亀谷喜敏君

「米国ボストンロータリークラブでメーキャップして来ました。創立100年を越え世界で7番目にできたクラブでメーキャップでき光栄でした。」 坂倉弘康君

#### 「三等(党)政治

柳川や 食えないドジョウで ポリバケツ

コンビニの 安倍川餅は ベタベタと

小判鮫 張り付き先を キョロキョロと」

鷲塚貞長君

本日のニコボックス	9件	40,000円
累 計	117件	1,256,000円

#### 服部滋副幹事報告

▽当クラブ行事予定

- ・11月28日(水) 例会終了後、クラブアッセンブリーを行います。クラブアッセンブリー終了後、理事会を行います。
- ・12月5日(水) 年末会員家族懇親会、場所はウェスティンナゴヤキャッスルです。17時受付、17時30分開会です。※お昼の例会はございません。
- ・12月12日(水) 卓話終了後、年次総会を開催致します。

#### 坪井和義会長挨拶

今日は、全身の病気に歯や口はどんな影響を及ぼすか?という話です。

今、歯科業界では8020運動が提唱されていますが、初めは読み方も分からなかったようです。ようやく最近になって、国民に認知をされてきたようです。この8020運動は、平成元年にはじめられ、当初は2~3%くらいの達成率でしたが、今では、ほぼ3人に一人の達成率になっています。

また、最近、むし歯にかかっている人は以前に比べ相当減ってきています。

例えば愛知県の小学校6年生の12歳児童は一人0.9本ほどになっています。

ただ歯周病と全身の健康という意味では、最近時に糖尿病や心臓病との関連が代表例として言われています。

篠田県立ガンセンター中央病院長によると、食道がんの手術を受ける人の平均年齢は62歳だそうです。その人たちを調べてみると、残っている歯の本数は平均22本で健康な方とそんなに変わらなかったですが、歯周病の症状が重い事を表す歯周ポケットの深さが、6mm以上と言う人が、80%にのぼるという事です。50才~70才台の一般の人はせいぜい13%程度ですから格段の違いがあります。

よって、口腔内の衛生状態が悪い人に食道がんは多く、因果関係があると言われています。

また、歯磨き回数と発ガン性のリスクを調べてみると、歯磨きを一日一回する人に比べ、歯磨きをしない人の、喉のガン、食道のガンの発生リスクは1.7倍になり、複数回歯磨きをする人は0.7倍に下がる

事が分かっているとの事です。ちなみに去年ガンで亡くなられた方は約35万人、ガンにかかっている人は70万人もいるとの事です。

歯周病との因果関係がある病気としては今言った糖尿病や心臓病が代表的ですが、腎臓病、動脈硬化、時に高齢者に見られる誤嚥性肺炎の原因にもなります。

口腔内にバイオフィームと呼ばれる細菌の塊ができると、そのバイオフィームには700種類もの細菌がいると言われていています。食事をするときや呼吸をする時にそれらの細菌が胃や肺に入り、病気の手伝いをするという悪循環があります。

咀嚼する事によって食物を細かく砕く事が出来ますし、唾液の分泌量が増え、飲みこむ事も容易になり、一度に25回から30回くらいはかんだほうが良いようです。

この事は脳にも肥満対策にもそして歯にもいい事です。

以前のイメージでは、医科は全身管理、歯科は歯の部分だけを診ていたという印象がありますが、今は違います。全身とつながった口腔であるという事を理解して頂きたいと思えます。

今からの食事時間も時間はあまりないかもしれませんが、ゆっくり咀嚼して味わって食べて下さい。

## 卓 話

### ロータリー財団月間に因んで

2012-2013年度ロータリー財団委員会委員長  
服 部 雅 紀



#### 1. はじめに

ロータリーの活動は、ロータリアン同士の親睦と5大奉仕が2大活動といわれます。ロータリー財団の活動は、奉仕のうちの社会奉仕活動と国際奉仕活動が補助金の対象になる場合が多いといえましょう。奉仕活動は、資金となる財源と人の働きとが一体となって成果をだすものです。

#### 2. 歴史

1917年、R I 会長アーチ・クランフがアトランタ大会で語った発案に始まります。

「さまざまな社会奉仕を今まで通り続けていこうと思うなら、世界で善を成すための寄付金を受け取ることは極めて適切なことだと思われる。」

1928年、元R I 会長からなる5人の委員で構成される管理委員会が運営するロータリー財団は親機関と別に資金を管理するとされた。

1929年の株価暴落後、さまざまな慈善活動に対する寄付金が枯渇するようになった。

1940年に勃発した第2次世界大戦時、ロータリー活動は危機に瀕しましたが、1945年ロータリー財団の綱領を改正し、高等教育のためのロータリー財団奨学金制度の拡充、各国の国民の間に国際理解と友好関係を目的とした確実に効果的なプロジェクトの育成、さらに戦争や災害により破壊や損害を被ったロータリアンと家族のための緊急時の救済方法の準備が規定された。

1956年、R I 理事会が毎年11月に「ロータリー財団月間」を設けることに決めた。

期間中、地区やクラブが財団を宣伝するプログラムを計画し、宣伝活動に伴い献金を奨励する。財団への寄付によってロータリー創立者を称えたいという、果てぬ願いから、重要な次のアイデアが誕生した。1957年、ロータリー財団に1000ドルを寄付したものはポール・ハリス・フェロー（同僚）になることを発表した。創立者の肖像入りの楯、メダル、襟章（えりしょう）が贈呈された。

1968年、準フェローという分類を加え、毎年100ドルずつ寄付することを公約した人に準フェローの称号を与えた。寄付額が1000ドルに達した時点でポールハリスフェローになる。

1982年、財団月間に改め、毎年11月に遵奉（じゅんぽう）することに決めた。

1984年に10万人、1989年25万人、1995年に50万人、創立100周年までに約100万人のポールハリスフェローが誕生している。

#### 3. ロータリー財団の運営と現状

ロータリー財団の「未来の夢計画」、6の重点分野が紹介された。本年度地区のロータリー財団の目標としては、・100米ドル、・ベネファクターは各クラブ1名、・大口寄付金 地区で5名、・ロータリーカードの普及活用の推進が説明された。

#### 4. 和合ロータリークラブの現状(新地区補助金の活用)

##### (1) 過去2年

愛知・天白警察へ防犯・交通安全の備品提供及び表彰

##### (2) 今年

陸前高田市への復興協力支援

気仙沼大工協会へ大工道具の提供事業10/16  
425,000円（うち補助金として半額未満の14  
1,520円、財団から入金予定）

#### 5. 和合ロータリークラブのベネファクタ

2011-2012年度寄付額は11,312米ドル（約92万円）、一人当たり114米ドルであることが報告された。さらに、ベネファクター（恒久基金）（過去含めて15名）、マルチプルポールハリスフェロー（過去含めて8名）、ポールハリスフェロー（過去含めて47名ご家族含む）、準フェロー（ポールハリスフェロー協力者）には、感謝の意を表し、その貢献を称えます。

最後に、ロータリー財団と関わりの深い国際奉仕活動、社会奉仕活動、米山奨学金制度について説明をしました。

今年もホームクラブの皆さんには100ドルの年次寄付をご協力いただき感謝申し上げます。併せて、ポールハリスフェロー、準フェローへの参画をお願いいたします。

例会	月日	今後の予定
第1969回	11.21	新入会員自己紹介 内藤博文君、田尻幹夫君
第1970回	11.28	南山大学 大学院ビジネス研究科 教授 八木エドワード氏
第1971回	12.5	年末会員家族懇親会 ウェスティンナゴヤキャッスル 登録・受付17:00～ 開会17:30～

○このウイクリーは再生紙を使用しております。